

桐生西ロータリークラブ週報

Rotary



2019-20年度RIテーマ

マーク・ダニエル・マローニーRI会長

ROTARY CONNECTS THE WORLD ロータリーは世界をつなぐ



例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30
 例会場・事務所 桐生市堤町3-5-23 桐生プリオパレス
 Eメール kiryu-nishi@rid2840.jp TEL 0277-22-9155
 URL http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi FAX 0277-44-2777
 会長 新木明夫 幹事 山形 剛 クラブ会報・雑誌担当 船戸義澄
 公共イメージ委員長:阿左美博 委員:金子福松、江原利夫(歴史編集:江原利夫) 唐澤聖弘

No. 2194

2020年5月11日発行

第2327例会 (2020・2・21) 報告

- | | |
|-------------|--|
| 1. 点 鐘 | 6. 食 事 |
| 2. ロータリーソング | 7. 委員会報告 |
| 3. 来訪者紹介 | 8. 卓 話 群馬大学大学院理工学府 特任教授
未来創生塾 塾長 工学博士 宝田恭之様 |
| 4. 会長の時間 | 9. 点 鐘 |
| 5. 幹事報告 | |

◆ピジター

群馬大学大学院理工学府環境創生部門 特任教授
 未来創生塾 塾長 工学博士 宝田恭之様
 リバミドウエストRC ルーテス・アルカーノ様

◆会長の時間

新木会長

- この時季、気温の変化・乾燥・花粉・黄砂・強風の5Kに注意とテレビの天気予報で言っておりました。皆様新型コロナウイルス予防も含めて健康には充分ご注意ください。
- 昨年午後7時から桐生4RC女子会がうおせんさんで開催されました。今回は当クラブが幹事クラブを務めました。参加された、井本君・中里君・越塚君・堀江君の4名にはご苦労様でした。
- 23日(日)のロータリー創立記念日に2840地区20周年祝賀会が伊勢崎プリオパレスで午後5時から開催されます。地区役員および地区内各クラブの会長幹事が出席する事になっておりますので、山形幹事と2人で出席して参ります。
- 27日(木)午前11時から桐生西ローターアクト創立30周年の記念植樹を希望の家さんで行います。これは桐生西RACの創設ならびに存続にご尽力頂きました矢野先生が設立された希望の家に、記念にしだれ桜を植えたいとの思いから、野田理事長先生をお願いをして実施できる運びとなりました。
 植樹するしだれ桜の提供や準備などは全て家住奉仕プロジェクト委員長のご芳志によります。また、乾会員にも細部に亘りお骨折り頂いております。当日は、当クラブから家住委員長・霜村RA担当・会長・幹事・事務局、希望の家から野田理事長先生・乾監査・清水事務局長が、桐生西RACか、幹事のオジャさん・会計のメアスさん・元会長のホランさんの3名が出席します。

◆幹事報告

山形幹事

- ◇次例会は桐生赤城RCとの合同夜間例会です。
- ◇ロータリー手帳を希望者に配布しますので希望する方は回覧名簿に○印をお付け下さい。
- ◇本日から桐生赤城RC合同夜間例会会費とIMの登録料の集金を行っています。ご協力下さい。
- ◇ハイライトよねやまvol.239が配信されました。(各テーブルに配布)
- ◇例会変更のお知らせ
 桐生RC 3/16,3/30 桐生赤城RC 3/17,3/24,3/31

◇クラブ会報が到着しています

桐生RC 1/20,2/3 桐生南RC 2/5,2/12
 桐生赤城RC 1/26・2/8

◆食事メニュー

951キロカロリー

カニサラダ、ナポリタンスパゲッティ、コーンスープ、パン

◆委員会報告

□クラブ運営委員会

◇出席報告

東郷(学)出席担当

会員総数55名 (出席免除者9名の内7名出席の為)
 出席率対象者53名、出席率対象者出席人数38名
 欠席者15名(内前メイク6名) 出席率83.02%
 前々例会修正出席率88.89% (最終欠席者8名)

□拠金委員会

◇ニコニコBOX

中里ニコニコBOX担当

宝田先生、卓話楽しみにしています
 新木君、家住君、中野君、近藤君、乾君、佐々木君
 明日は2020年(令和2年)2月22日ですね!「2」がたくさん
 野田君
 リサイクル募金ご協力ありがとうございます 船戸君

◇ロータリー財団

加藤ロータリー財団担当

宝田先生、卓話楽しみにしています
 中野君、野田君、佐々木君、船戸君
 宝田先生、今日はお勉強させていただきます 中里君
 ルーテス・アルカーノさん、ようこそ 新木君

◇米山BOX

早川米山奨学担当

宝田先生、卓話楽しみにしています 佐々木君
 宝田先生、今日はお勉強させていただきます 中里君
 ルーテス・アルカーノさん、ようこそ 新木君
 同級生の顔がみられてひと安心。綾子さん 江原君
 いつもより遅く10時30分頃寝たのですが4時10分頃
 起きられました 船戸君

□ハイキング部

小林(憲)会計

去年10月台風のため急遽中止になった那須茶臼岳山登ツアーを5月の連休明け頃に計画したいと思っています。その節は皆様のご参加を宜しくお願いします。

《今後の予定》

5月15日(金)、5月22日(金) 休会
 それ以降の予定については後日ご連絡致します

卓 話



群馬大学大学院理工学府
環境創生部門 特任教授

未来創生塾 塾長

工学博士 宝田 恭之様

「楽しい低炭素社会を
つくる未来創生塾」

低炭素社会とは、正に今世界的に問題になっています。地球温暖化を抜本的に解消した二酸化炭素が低い社会です。全く無くす事は相当先だと思いますので、先ずは効率的にCO₂を減らして行きたいと考えております。

皆様ご存じの通り、去年は異常気象により日本は大変な被害を受けました。この事が直接温室効果ガスと結びついていると、学者の立場からは言い切れませんが、その可能性は充分にあると思います。

1972年「成長の限界」が出版された時は、世界の研究者や技術者達は本当に衝撃を受けました。これはローマクラブがその当時の経済学者や社会学者達に、これから地球はどうなっていくのかを調査させて、研究結果を纏めた本です。コンピューターの精度とか条件次第で変わるので、年代についてはあまり意識するなど注釈はありますが、傾向は変わりないとの事です。それに依りますと2020～2030年頃ピークを迎えて、それから人類が滅亡の曲線に入っていくのです。

そこでもっと私が驚いたのは、科学技術で色々な技術を開発しても、その曲線がちょっと右にシフトするだけで形は変わらず、少し人類に考える時間がある程度なのです。私は40年近くエネルギーの高効率化について研究開発を行ってきました。今のCO₂問題も高効率の技術を作れば、二酸化炭素が減って社会は安定して持続的なものになるとの観点から研究を行ってきたのです。

「成長の限界」は、1992年に「成長の限界 限界を超えて」、2002年「成長の限界 人類の選択」、と2冊目、3冊目が出ています。続編2冊には、この様な事が出来れば、場合に依っては持続的な社会が可能かもしれないと、少し提案を行っています。その中に未来の社会を作る5つのポイントがあります。①ビジョンを描くこと、②ネットワークをつくること、③真実を語ること、④学ぶこと、⑤慈しむこと、です。しかし、提言だけで、対策までは示されていません。尚且つ、今までの社会の根本を変える事になりますから、勇気を持ってやって下さいと書いてあります。周りから袋叩きにあう様な大胆な改革をしなければ確実に滅亡すると、更に精度の高いシミュレーションで示しています。これらの本を通じて、「本当に大変なんだ、地球温暖化は生易しい事では解決できない、本気になってやらないと駄目だ。」と、つくづく思い知らされました。

ここで地球の歴史を振り返ってみます。137億年前のビッグバンから、46億年前に地球が誕生したと言われています。45億年前に地球と月が分かかれ、海ができたのは43億年前位です。生物では35億年前にシアノバクテリアが初めて光合成を行いました。それ迄は地球の周りはCO₂だらけだったのですが、シアノバクテリアが成長し過ぎてCO₂を無くしていき、地球は全球凍結し

ました。そして6億3千万年前の多細胞生物の出現から始まり、我々ホモサピエンスが世界に拡散して行ったのが10万年前ですから、人類は新参者もいいところです。実際、色々な活動を始めたのは1万年位前で、産業革命は250年前ですから極々最近なのです。その私達が地球の生態系までに影響する様な状況になりつつあるのです。この速度は速すぎると感じているところです。

今、地球上では人類が経験したことのないCO₂の濃度になっています。ですから何があってもおかしくない状況で、対策をしていかなければなりません。

産業革命以降、人類にとって良い事ばかりでした。しかし、未来創生塾副塾長に今の社会に対してどの様な印象を持っているか聞きましたら、ウイルス・犯罪・高齢化・少子化・受験・人間性・景気・放射能・PM2.5・自然災害・温暖化という順に、不安材料ばかりでした。とても華々しい社会に生きているとは思えません。本当に人類は幸福になったのか？この先も幸福になっていくのか？と、とても不安になってきました。

地球温暖化、二極化構造、希薄な人間関係、これらを解決しなければ、豊かな社会になっていきません。また、正しい情報を出して行くことも重要です。例えば地球温暖化の気候変動で年間25万人も死者が増加すると報道されています。今、全世界で年間5,500万人亡くなられていて、その中の500万人が餓死しています。飢餓に苦しんでいる人が8億人もいます。この様な世界の二極化構造を解決していかなければ将来は無いと思います。

先ず、先進国がやらなければいけない事はエネルギーの削減です。しかも楽しくなければ駄目です。私の評価基準は「世界で初めて」と「楽しい」、この2つだけです。

20世紀は大量生産・大量消費の時代でした。また携帯電話の普及やITの進歩でコミュニティの崩壊に繋がりと、社会不安・幸福感の欠如になっています。これらの使い捨てて社会を解決していくことが重要で、根本は『感性』であると結論に達しました。

自分達が自分達の資源を使って生活を楽しむ事ができる最高の場が「桐生」だと思います。今、第3の革命が起こらなければ駄目で、これは「価値の革命」です。

平成20年にJST社会技術研究開発センター公募事業の地域枠で「地域力による脱温暖化と未来の街—桐生の構築」というプロジェクトが採択され、色々な活動をしております。電気自動車や未来創生塾もこの事業に含まれます。

未来創生塾は、親子で参加して感性を育む教育を行っています。この感性とは「物事の本質を見極められる感受性」です。これを持っている人が次世代のリーダーになれます。それは人の心がわかるからです。心と心が繋がったコミュニケーションがとれます。桐生には感性を育む全ての要素がありますので、それをを用いて、高度な理念のもとカリキュラムを作り、地域一体となって活動し、未来を創るのが未来創生塾です。

この様なプロジェクトを通して、私が達した結論は、「良い物を長く大切に使うライフスタイル」です。商品寿命を2倍にただけでCO₂を2億7千万ト減らせます。

この事をやり通すには、「健全な執念」と「人のつながり」、この2つがあれば出来ます。

ロータリーにも通じるところがあると思いますので、皆様にもご協力をお願い致します。